

外来だより

VOL.7

発行者 大野浦病院
編集 外来
TEL 0829-54-2426

呼吸器内科
中 医師



睡眠時無呼吸症候群とは？

睡眠中に何回も呼吸が止まり、ぐっすり眠ることができない病気です。大きないびきや起床時の頭痛、夜間の呼吸停止、日中の強い眠気などの症状があります。潜在患者は人口の2〜3%といわれ、放っておくと高血圧や心臓循環障害、脳血管障害などに陥るといわれています。また日中の眠気などのために仕事に支障をきたしたり、居眠りによる事故の発生率を高めたりするなど、社会生活に重大な悪影響を引き起こします。しかし治療法が確立されているため、適切に検査・治療を行えば決して怖い病気ではありません。
眠気やいびきなどある方は、ご気楽にご相談ください。

大野浦病院で睡眠時無呼吸症候群の検査ができるようになりました。

怖いのは

合併症

睡眠時無呼吸症候群になると、様々な合併症を高率に引き起こします。生活習慣病にかかるリスクも増大します！！

負担額にて変動しますが
3割負担：2700円
1割負担：900円
になります



リスクが
増大！！
睡眠時無呼吸症候群
になると

1.5倍

糖尿病

2倍

高血圧

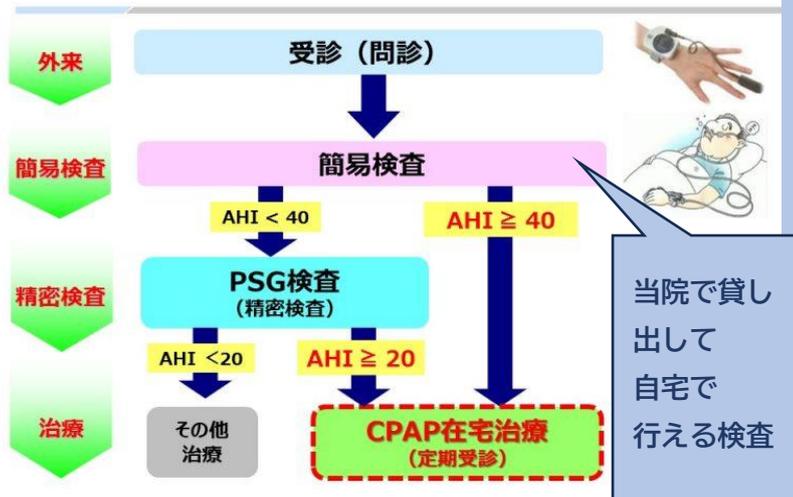
3倍

心疾患

4倍

脳血管障害

睡眠時無呼吸症の検査治療の流れ



※AHIとは睡眠1時間あたりの無呼吸と低呼吸の合計をいいます。(無呼吸低呼吸指数)